

一般社団法人設立にあたって

2026年4月1日から本連盟は、学生スポーツの未来を築く責任ある非営利型一般社団法人を設立し、新たにスタートし、文武両道をモットーに誠実・公正・透明な運営を行う組織となりました。

本組織は、高い倫理観をもって学生の成長を促し、社会からの信頼に応えます。これまでも大学準硬式野球は、学生主体で運営を行ってきており、選手としてもスタッフとしても学生が主役であり、誰もが挑戦できて自分自身を高めて成長できる舞台を設けてきました。「可能性、ひろがる。JUNKO」を合言葉に、さらなる高い望みを目指して、誰もが輝ける開かれたフィールドにて慣習にしばられずに学びと野球もどちらも本気に仲間とつながる力で未来を変えて行きます。

過去20年間に小学生、中学生の野球人口は半減し、高校軟式は38%、硬式は13%減少しました。大学準硬式野球は、大学数と学生数の上昇により、11%増加し、1万人を超える会員数となりました。

しかし、コロナ禍で24%の2,500人減少し、最近5年間では10%減少しています。これが20年間続けば、35%の減少が推定され、6,000人の会員となってしまいます。

この会員数の減少をストップさせて、1万人をキープすることが、本連盟生き残りの緊急の最大の課題であります。

大学で準硬式野球をやって、本当に良かったと思う卒業生を今以上に多くし、その卒業生による後輩へのリクルート活動を最大限に活用して大学準硬式野球の100年へ向けて努力したいと思います。

私自身は大変微力でありますので、皆様方のお力添えが必要であります。何卒、ご協力とご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人全日本大学準硬式野球連盟
設立時代表理事 会長 松岡弘記